

関 綾乃 ニュース

Seki Ayano News 2023.11

情報
発信中!

facebook

Instagram



住んでよかった朝来市に ～住んでいる人にやさしいまちづくりを!～

つ
ま
い
り
あ
い
ま
し
た

秋も深まり、朝晩の気温も下がって、温かい物が美味しい季節になってまいりました。特に今年は近年にない物価高騰に大きな影響を受け、生活が苦しくなったという声を沢山聞いております。9月の一般質問では「冬季における朝来市の観光促進」「児童館機能を備えた市民交流広場の拠点整備」について質問をさせていただきました。



令和5年9月定例会 ● 一般質問 〈一部抜粋〉

冬季における朝来市の観光促進について

質問 関 現在の朝来市の観光はどのような状況か？

答弁 市長 本市の観光客の状況は令和5年度第1四半期45万1,583人(市内観光施設)であり、令和元年度の同時期では56万8,281人となっている。新型コロナウイルス感染症拡大前の水準までは回復していない。

質問 関 兵庫県の観光データでは冬季に但馬に来られるお客様が無いことはなく北但馬にはしっかりと来訪がある。今後、北但に來られるお客様をより多くキャッチすることが大事。観光は観光だけにあらず大きな効果があると思うが、市長は何故本市にとって観光が必要と考えるか？

答弁 市長 観光は交流人口を増加させるとともに市内での消費、経済効果、産業、雇用の創出を通じて市内の経済循環、地域の活性化に寄与するものとする。

質問 関 観光は非日常を味わうことが出来、人生に世界の広さと未知なることを知る楽しさや素晴らしさを教えてくれる。春夏秋冬の竹田城跡や神子畑選鉱場跡などを上空から撮影したドローン動画などの映像をスクリーンに投影し、映像を見るシアターがあれば冬季だけではなく今まで歩く観光を諦めていた方々も朝来市の観光を楽しむことが出来るのではないか。

答弁 産業振興部長 冬季の誘客については朝来市の課題の一つであると認識している。シアター施設については朝来市の魅力を伝えることが出来、天候にも左右されずに朝来市の観光を楽しんでいただくには有効と考えるが、設置場所や費用の面も課題が多いと考える。

質問 関 本市に観光でお越しになった方に何が良かったか等の調査はされているか？

答弁 産業振興部長 昨年度に観光マーケティング調査を実施し、歴史、自然、買い物、食が上位73%で、満足度は“満足”“やや満足”で約81%の回答だった。

質問 関 ベビーカーや車椅子などを御利用の方や長距離の歩行や散策に不安をお持ちの観光客の方々に配慮した取組みについて、その内容は？

答弁 産業振興部長 JR和田山駅でお助け隊コンシェルジュとして観光案内やポーター等の支援、荷物運び等を行っている。学校行事等で竹田城跡へ来城の時、歩行に不安のある生徒さんについては収受棟まで車で登城いただける。「高齢のため、長時間歩行が難しいが竹田城跡まで行けるか」という問い合わせもあり、立雲峡を案内している。

質問 関 私自身も市外への旅行時に竹田城跡の話をするが、知っている人は多いが、行ったことがない人が多い。市内の観光地は点在している所が多く、点を線に、線を面に繋いでいく事が大事。点を線に、線を面に繋げるための取組みは？

答弁 産業振興部長 第2次観光基本計画の中でも1人当たりの観光消費額の増加を設定している。滞在時間や購入代金など数値を上げていくことが重要で、指摘のとおり市内の観光地は点在しており点を線として結ぶ取組みとしてデジタルスタンプラリー等を実施している。特にサイクリスト向けにはサイクリングルートを設定し、サイクルツーリズムの推進を行っている。

質問 関 令和元年8月発行の“日本遺産のまち朝来を旅する”というパンフレットでの周遊体験型モデルルートは非常に素晴らしい内容で実際に私も家族や友人と楽しんだ。実績として結びつける調査や検証をされているか？

答弁 産業振興部長 実績に関して調査や検証というのは行っていないが、今後、検証等は行う必要があると考える。

質問 関 デジタルスタンプラリーと写真の投稿を組み合わせる記念品をプレゼントするなどSNS等で必要なデータ収集や調査などが可能ではないか。

答弁 産業振興部長 フォトリリーについては提案のとおり様々な効果が期待出来ると考える。現在、フォトコンテストを実施しているが、フォトラリーも検討していく。

質問 関 観光は観光にあらずで、観光投資や広く市内外に本市の魅力をPRすることで本市が抱える課題の突破口になればと期待する。



児童館機能を備えた 市民交流広場の拠点整備について

質問 関 今年4月にこども家庭庁が創設され、その目的は子供に関する行政事務を一元化し、子供政策の司令塔になるべく発足した。朝来市の子育て支援策のサポートは複数の関係課から成るプロジェクトチームでどんなことが出来るようになったのか、また課題は何かがあるか？

答弁 理事兼企画総務部長 市の子ども・子育て施策推進プロジェクトチームについては、結婚、妊娠、出産、子育てなどの諸問題に対処し、子ども・子育て政策の推進を図ることを目的に本年4月に設置した。子育て施策の状況確認や課題の現状認識を行い、意見交換を行う。市民目線に立った窓口や相談体制の在り方、課の連携や省力化の可能性、国・県との調整を行う総合窓口の必要性など推進体制強化を図ることを検討している。課単独あるいは連携して実施することでより効果が上がる事業を提案し、制度設計等の調整をしている。

質問 関 朝来市子育てガイドブックや子供の年齢から見た子育て支援策一覧表では妊娠期から中学、高校生までの子育てを応援する支援策が非常に分かりやすくまとめられている。支援が必要と思われる子供や家庭との繋がりをどう構築しているか？

答弁 健康福祉部長 母子健康手帳交付時や乳幼児健診等を通じての相談、関係機関からの紹介等、初めての出会いを大切に、課題を抱える保護者等との歩調を合わせることを心掛けている。保護者の目指したい子育てと一緒に確認し、経験を重ねながら身近な相談相手として個別性や課題に合わせた専門的な支援に繋がるように丁寧に信頼関係の構築を図っている。

質問 関 国が実施する地域子育て支援拠点事業を各4カ所の子育て学習センター、こども園と保育園が実施している。就学前の子供とその家庭の子供同士で交流を持てるまでは子育て広場などがあるが、支援の必要性などはどのように把握して情報提供しているか？

答弁 教育部長 子育て学習センターへの参加を呼びかけるために新聞等による出生状況を基に対象世帯へ案内をしている。

質問 関 2歳迄の子供の内、在園割合や在宅割合はどれ位か？

答弁 教育部長 在園割合が58%で、在宅割合が42%である。

質問 関 子供同士、親同士、養育者などが自由に交流できる場は相談者の心のハードルを下げる事が可能であると考え。交流広場に教室や児童館としての機能を持たせ、幅広い相談に応じることができる拠点を整備してはどうか。

答弁 教育部長 新たな施設の設置となると施設保有量の最適化や総量の縮減ということで慎重な検討が必要。指摘い

ただいた交流広場としては現状だと保健センターが対象施設として可能と考える。

質問 関 子供の健診等で未受診の場合は何が問題と考えているか。支援を必要と判断する家庭について、問題を解決するためにどんな対応をしているか？

答弁 健康福祉部長 ほぼ100%の方が受診していただいている。支援が必要だと判断をされる家庭については専門的に扱う要保護児童対策地域協議会で対応している。

質問 関 市内在住で市外の学校に通学している場合や、勤労とひきこもりを繰り返している場合等、どの相談機関に行けばいいのか判断に迷うこともある。

答弁 健康福祉部長 子供さんの相談については教育委員会や社会福祉課で対応している。福祉の総合相談窓口として健康福祉部内に福祉相談支援課での相談体制を取っており、必要に応じて適切な相談機関や部署へ繋いでいる。市民のための交流拠点広場の整備については多世代の方が自由に往来し自然に悩みを相談することで生きづらさや不安を取り除いていただける拠点ということで非常に理想的な施設であると考えます。

質問 関 市長部局、教育委員会部局、その垣根を越えてサポートしていけるようなセクションがあれば切れ目なくしっかりと市民を支えていくことが出来るのではないかと。市民交流広場に児童館機能を合わせれば切れ目ない支援にも繋がると考えるとともに災害が起こったときに乳幼児用の避難所になれば夜泣き等を気にして避難所利用できなかった家庭も安心してもらえるのではないかと。

答弁 健康福祉部長 現状では切れ目のない支援については健康福祉部内で対応しており、教育委員会等も含めてその体制づくりについてしっかりと検討を重ねていく。

関綾乃 令和5年9月定例会
一般質問はこちら



3月、6月、9月、12月には本会議が開催されます。
本会議は朝来市CATVでライブ放映や録画放映もありますが、市民のみなさまも是非、傍聴にお越しください。議場でお待ちしております。



2023年6月4日
たたらぎダム湖マラソン大会
給水係にて



2023年8月5日
北近畿豊岡自動車道・山陰近畿自動車道
早期実現促進大会にて

